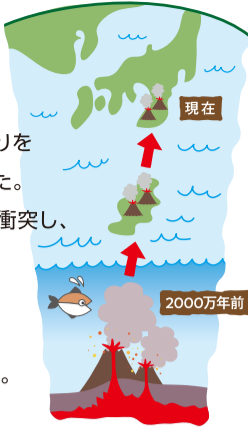


南の海からやってきた!

多くの旅人が訪れる伊豆半島。実はこの半島そのものも旅人なのです。南の海で誕生した海底火山は、噴火を繰り返しながら800kmを越える道のりを2000万年以上の年月をかけて旅してきました。約100万年前にはその行く手にあった本州と衝突し、現在の伊豆半島になりました。変化に富んだ地形や豊かな温泉、さまざまな文化といった伊豆の長い旅のお話を耳を傾けてみましょう。



伊豆半島の旅が教えてくれたこと

1 海底火山が何をしてくるか教えてくれる

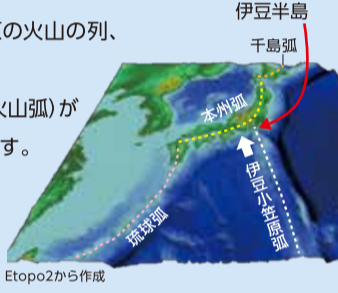
地球表面の70%を占める海。この広大な海の底をつくってきた海底火山を知ることは、地球全体の大地のなりたちや将来の姿を知ることにもつながります。伊豆には海底火山の地層が広く分布しています。本州との衝突による隆起によって、本来は目にすることが難しい海底火山の姿を目のあたりにすることができるようになりました。海岸などに美しく露出する海底火山のなごりは世界の海底火山研究をけん引してきた場所でもあるのです。



この地図の青色のところはかつて海底だった大地です

2 火山の列どうしが衝突し続ける場所の姿を見られる

伊豆半島から南に延びる伊豆-小笠原の火山の列、本州を形成する火山の列、活火山を多く含むこの2つの火山の列(火山弧)がぶついているその場所が伊豆なのです。現在も続く衝突は伊豆半島の中にさまざまな地形を形作ってきました。



Etopo2から作成

伊豆の旅をもっと楽しく! もっと詳しく!

無料で配布『伊豆ジオMAP』

観光施設などで配布しています。本ドライブマップと一緒に見ると分かりやすいです。



ジオサイトにある『解説看板』

各ジオサイトには土地の成り立ちを詳しく解説する茶色い看板があります。ぜひチェックしてみてください!



『自転車』でジオサイトめぐり

伊豆各地にはレンタサイクル店があり、手軽に自転車の旅を楽しむことができます。<https://izugeopark.org/enjoy/cycling/>



『伊豆半島ジオパーク認定ガイド』

見過ごしてしまうようなありふれた景色に、なぜその景色になったかという背景があることを、分かりやすく案内してくれます。<ご依頼・お問い合わせ先>伊豆半島ジオガイド協会 Tel/Fax 0558-74-5423 <http://www.izugeoguide.org/>



伊豆半島ジオパークミュージアム ジオリア

伊豆市修善寺838-1 (修善寺総合会館内) Tel.0558-72-0525 開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日 水曜日 (祝日の場合は翌平日) 入場無料 <https://georia.izugeopark.org/>



地域のジオパーク案内

- 南伊豆ビジターセンター (石廊崎オーシャンパーク内) Tel.0558-65-1600
- 下田ビジターセンター (道の駅関国下田みなと内) Tel.0558-22-5255
- 松崎ビジターセンター (明治商家中瀬邸内) Tel.0558-43-0587
- 河津七滝ビジターセンター (河津七滝観光センター内) Tel.0558-36-8263
- 西伊豆ビジターセンター (こがねすと内) Tel.0558-55-0580
- 東伊豆ビジターセンター (熱川温泉観光協会内) Tel.0557-23-1505

マップ面に場所掲載? はジオパーク案内可能スタッフ常駐施設

地域の観光案内

- 東伊豆町観光協会 Tel.0557-95-0700
- 河津町観光協会 Tel.0558-32-0290
- 西伊豆町観光協会 Tel.0558-52-1268
- 松崎町観光協会 Tel.0558-42-0745
- 南伊豆町観光協会 Tel.0558-62-0141
- 下田市観光協会 Tel.0558-22-1531

発行元/伊豆半島ジオパーク推進協議会 Tel.0558-72-0520 伊豆市修善寺838-1 (修善寺総合会館内) <https://izugeopark.org/>

2019年2月発行

南 伊豆半島 ドライブ マップ

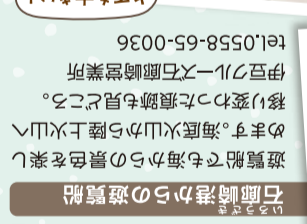


金目鯛は相模灘を中心として採水揚げ日本一。また、東伊豆町の鯛は釜田市の釜田産の鯛の水揚げ日本一。また、東伊豆町の鯛は釜田市の釜田産の鯛の水揚げ日本一。



水揚げ日本一

下田5級サザエ工。下田5級サザエとは、下田沖合いの無人島付近で獲れる、海産の米を大きく育てた400g以上のサザエのこと。



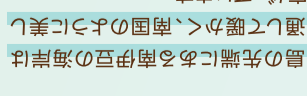
とて大きい!

石廊崎港からの遊覧船。遊覧船でも海からの景色を楽しめます。海底火山から陸上火山へ移り変わった痕跡も見どころ。伊豆クルーズ石廊崎営業所 tel.0558-65-0036



サイカック

ウミガメが産卵します。毎年7月上旬、町が産卵のため上陸し、町が産卵(さし)という地形。川が運んできた砂粒が、海流に流され帯状にたまってできた「砂浜」です。1200mもの美しい弧を描く白砂の海岸は、伊豆半島の先端にある南伊豆の海岸は年間を通して暖かく、南国のように美しい海が広がっています。



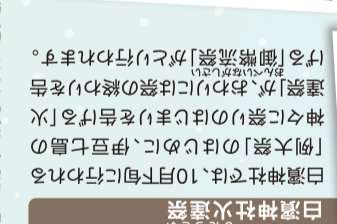
ウミガメが産卵します

南の島!

美子島遺跡(恵比須島)。7~8世紀頃とみられる須臾器や土器、灰土跡もあり、海の神に祈りを捧げた場所であるといわれています。



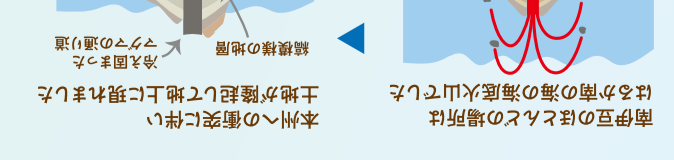
子浦三十三観音。子浦港から日和山遊歩道を5分程度歩くと、海底火山の噴出物が侵食されてできた崖のほくほく地に「三十三観音」と呼ばれる石仏群が安置されています。



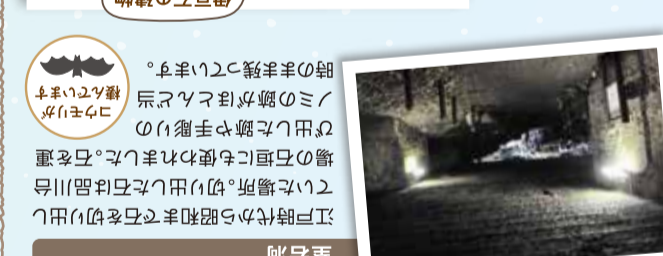
白濱神社。白濱神社では、10月下旬に行われる「例大祭」のほかに、伊豆七島の神々に祭りのはじまりを告げる「火運祭」が、おわりに祭りの終わりを告げる「御熊流祭」が行われます。



白濱神社。火山の噴火をおさめるために神を迎え入れたとされる神社。祭神の伊弉比命(いこなひのみこと)は、伊豆諸島開拓神の三嶋神(現在は、三嶋大社の祭神)の后神のひとりであるといわれています。



伊豆石の建物。江戸時代から昭和まで石を切り出し、切石を積み上げた石造りの建物が並ぶ風情ある伊豆石の強い伊豆石は、古くから重宝され、趣に多く使われてきました。暮れ、黒船がやってきた。たゞ一掃が行進した道です。



石を切り出した場所。入間の港から徒歩約40分。伊豆の秘境ともいえる千畳敷には、海底に降りついた火山灰などからなる美しい層が広がります。かつて伊豆石を切り出した跡も残ります。



伊豆石の地層。石段や浴槽などに広く用いられてきました。加工しやすいため、古くから「伊豆石」として切り出され、民家の蔵や石仏、灰などがつくられる地層もそのひとつ。この地層は、柔らかく軽く見られます。海底に降りついた火山灰山だつた頃のなごりがあちこちで見られます。伊豆半島から西伊豆にかけて、伊豆が海

伊豆石 生活を支えた

荒々しくも美しい 海底火山のなごり 自然に寄り添う人々の暮らし